

体験学習実施レポート

社会貢献活動「深沼ビーチクリーン活動」

体験学習は、社会貢献活動や自然とのふれあい、運動習慣のきっかけ作り、趣味を見つけるなど、お金以外の“自分の支え”をみんなで一緒に考える活動！
これからの人生を豊かにする“自分が好きなこと”を探しにいきませんか？



深沼ビーチクリーン
FUKANUMA BEACH CLEAN

スナガニが住めるきれいな砂浜にしよう！

宮城県仙台市若林区荒浜の「深沼海水浴場」は、仙台市唯一の海水浴場として多くの人が訪れている。2011年3月11日、東日本大震災の津波により、全壊が激しく、砂浜が壊滅的な被害を受けた。それでも、豊かな自然に恵まれた魅力に覆われ、少しずつ砂浜を元に戻す必要が感じられた。『深沼ビーチクリーン』は、そうして訪れる人々に安心して過ごしてもらえよう、海岸清掃をしながらやろう！という取り組みです。

毎月第2日曜日・10:30-11:30*申込不要

2025年 4月13日・5月11日・6月8日・7月13日・8月10日・9月14日・10月12日・11月9日・12月14日・2026年 1月11日・2月8日・3月8日

※天候等により中止になる場合もあります。

集合場所 海岸公園センターハウス
(宮城県仙台市若林区荒浜北官林30)

無料駐車場あります

どなたでも自由に参加できます。申込不要。動きやすい服装で軍手をお持ちください。

お問い合わせ先
E-mail: tbeach.clean@gmail.com

主催: フカミビーチクリーン 後援: 仙台市
協力: 海岸公園センターハウス、ラジオ 3FM76.2MHz

最新情報はFacebookで配信中!!

「深沼ビーチクリーンメンバーズ」
● 参加の奨励 ● 住子奨励 ● 佐藤賞 ● 深沼特産品
● 株式会社ユーメディア (広告・運営) ● 荒浜のめくみキッチン (サポーター)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



深沼海水浴場をスナガニが住めるきれいな砂浜にしよう！

活動日時: 6月8日(日) 10:15~12:15

社会貢献活動として、深沼ビーチクリーン活動に参加して来ました！

また、ビーチクリーン活動後、「震災遺構:旧荒浜小学校」を見学しました。

参加者: プログラム受講者 4名、連携機関 2名、スタッフ 2名(計8名)



運営団体



Switch
認定NPO法人

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-6-3 東口鳳月ビル602

☎: 022-762-5851 FAX: 022-762-5853

メールアドレス: info@retry-miyagi.org 担当: 今野、本間

体験学習: タイムスケジュールと活動の様子

- 9:40~10:10 宮城野区榴岡⇒ 深沼地区海岸公園センターハウス
10:20~11:15 深沼ビーチクリーン活動
11:30~12:10 震災遺構: 旧荒浜小学校見学
12:10~12:45 海岸公園センターハウス～榴岡、解散



さあ、海岸をキレイにして来るか～！



BBQや花火を楽しむのはいいことだが・・・
楽しんだあとも責任ある行動をして欲しいですね！



多くの皆さんの活動で集められた
海岸のゴミたち！



震災遺構: 旧荒浜小学校を見学



ふりかえり:ビーチクリーン活動&震災遺構見学

1. ビーチクリーン活動は、楽しかったか？ 番号に○をつけてください。

①**楽しかった(4/4)** ②まあ楽しかった(0/4) ③どちらともいえない(0/4) ④あまり楽しくなかった(0/4) ⑤楽しくなかった(0/4)

2. ビーチクリーン活動の感想をご記入ください！

- ビーチには、砂浜に大量のゴミがいっぱい有り、取りました。
- 思いのほかゴミが多くあり驚いた。ルアーが落ちていたのがショックでした。
- 初めての事ばかりですごく勉強になりました。
- 日本人として恥ずかしい一面を見せつけられました。“楽しむ”半面でゴミを廃棄し帰る、という事が信じられない。

3. 震災遺構:旧荒浜小学校を見学し、感じたことをご記入ください！

- 波が高い所に車とフェンスが、ゴミとかもいっぱい来てた。災害後はちゃんとなっていた。
- 言葉につまり、何も言えなくなりました。
- 人とのつながりや、良い交友関係等で助け合えるんだと知ることが出来ました。
- 「死者はでなかった」と聞きホッとした。

4. 今日の感想や、気づき、やってみたい別の体験学習など、自由にご記入ください！

- 今日は、楽しくゴミを拾うことができた。ゴミが少なくなるようにしたいです。
- 今という時を大事に、大切に毎日を生きようと思いました。
- もっとこういった活動をしてみたいなと思いました。
- “心の安定”を頂きました。

総括コメント

～深沼ビーチクリーン&震災遺構 旧荒浜小学校見学会～

「今という時を大切に、生きようと思いました」、「人とのつながり、良い交友関係があれば、助け合えるのだと知ることが出来ました」、「心の安定を頂きました」

参加者全員が、それぞれの心に深く残る経験をした日曜日。

本日は「リ・トライ！」2025年の取組み第2回目として、「深沼ビーチクリーン&震災遺構 旧荒浜小学校見学会」を実施しました。

活動の舞台となったのは、東日本大震災で甚大な被害を受けた歴史ある荒浜地区。私たちは、深沼海水浴場での清掃活動の取り組んだ後、かつて320人が一夜を明かした「震災遺構 旧荒浜小学校」を訪れました。

ビーチクリーンでは、花火やバーベキューの痕跡と思われる大量のゴミが砂の中から見つかり、参加者全員で協力して掘り出しました。最初はわずかだったゴミも、掘り進めるうちに次々と姿を現し、歓声と笑顔が自然と広がる時間に。

その後に訪れた旧荒浜小学校では、震災当時の記録や教室様子をじっくりと見学し。「今、自分たちがこうして生きていることが当たり前ではない」ということを、改めて心に刻むひとときになりました。

今回参加された多くの方々にとって、震災遺構を訪れたり、ボランティア活動に参加したりすることは初めての経験でした。これまでの人生で出来なかったことを少しずつ「やりなおす」機会が、まるで新たに人生を歩みなおすような、どんなかけがえのない時間になったように感じます。

次回の「リ・トライ！」も定員間近となっています。多くの方のご参加を、心よりお待ちしております。

(代表理事 FBより一部編集し引用)